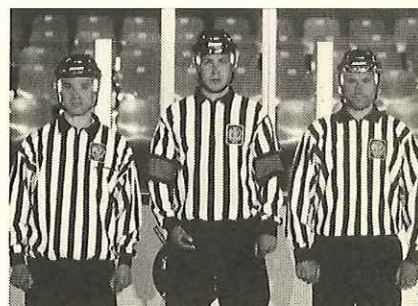


INTERNATIONAL ICE HOCKEY FEDERATION



OFFICIATING PROCEDURES MANUAL



レフェリー・マニュアル

目 次

第 1 章－国際アイスホッケー連盟・オフィシャル強化プログラムの構成

第 2 章－オフィシャルの資質

<オフィシャルの資質>	2-1
よくある失敗と対策	2-1
満点の評価	2-2
ルールの知識	2-3
フィットネス（健康状態）	2-3
容姿と存在感	2-3
スケーティング能力	2-4
ポジショニング	2-5
シグナル	2-5
手順	2-5
態度	2-6
プレッシャーへの対応	2-7
信頼性	2-7
コミュニケーション	2-8
ゲーム勘－ペナルティの選択	2-8
判定／一貫性／基準	2-9
チームワーク	2-9
<ゲーム・マネジメント>	2-10
序文	2-10
ゲーム・マネジメントの原則	2-10
ペナルティを科すタイミング	2-11
反則の種類	2-11
評価	2-12
まとめ	2-12
<フェアプレーの提唱>	2-12
<オフィシャルの倫理規程>	2-13
<まとめ>	2-13

第3章 フィットネスと栄養摂取

<フィットネスと栄養摂取>	3-1
序文	3-1
<ストレッチング>	3-2
試合のない日	3-2
試合のある日（試合前の準備）	3-5
スケーティング・ウォームアップ	3-9
試合後のストレッチ（クールダウン）	3-11
<リラクセーション（休養）>	3-15
ストレスの緩和	3-15
メンタル・ウェルネス（精神的健康）－ ブリージング（呼吸）	3-15
<ホッケー・オフィシャルのためのフィットネス>	3-16
心血管系持久力－エアロビック・フィットネス	3-17
負荷強度（エクササイズの強さの定義には3種類の方法がある）	3-19
注意事項	3-19
筋肉の強さ，力，持久力	3-19
ウェート・トレーニング	3-20
柔軟体操	3-21
プリオメトリクス／跳躍運動	3-22
注意事項	3-25
<栄養摂取と水分補給>	3-25
栄養摂取	3-26
試合前の食事：ガイドライン	3-27
試合前の食事の例	3-28
試合後の食事：ガイドライン	3-28
試合後の食事の例	3-28
水分補給	3-29
<まとめ>	3-29

第4章 レフェリーの手順

< オフィシャルの用具>	4-1
最低限必要な用具	4-1
随意の用具	4-1
<レフェリーの任務>	4-2
フェアプレーの提唱	4-2
試合開始前の任務	4-2
試合／ピリオドの開始	4-3
レフェリーの一般的な任務	4-4
試合／ピリオドの終了	4-5

ペナルティを科す	4 - 6
重要な点	4 - 8
レフェリーのシグナル	4 - 9
選手のライン交代の手順	4 - 15
いさかい（乱闘）	4 - 17
ゴールに関する論争およびその他の論争	4 - 17
用具の計測	4 - 19
ゲームレポートの作成	4 - 21
ペナルティ・ショット	4 - 22
<まとめ>	4 - 24

第5章 ラインズマンの手順

<ラインズマンのための一般的手順>	5 - 1
<フェイスオフ>	5 - 2
<フェイスオフの領域侵入>	5 - 4
適用の方法	5 - 4
<オフサイド>	5 - 6
<ディレイド・オフサイド>	5 - 6
解釈のガイドライン	5 - 7
<ライン上でのコール>	5 - 7
<アイシング>	5 - 8
<ペナルティ状況下のフォロー>	5 - 9
<得点後の手順>	5 - 10
<タイムアウトの間>	5 - 10
<氷とネットの補修>	5 - 11
<プレーの中断ーゴールが動いた場合>	5 - 11
<乱闘の分け方>	5 - 12
乱闘を分ける際の注意点	5 - 13
<出来事の報告>	5 - 13
<レフェリーのカバー>	5 - 14
<もう一人のラインズマンのカバー>	5 - 15
エンドゾーン	5 - 15
ニュートラル・ゾーン	5 - 15
一般原則	5 - 16
<注意力>	5 - 16
<バックの手渡し>	5 - 16

<ラインズマンの責任，手順およびガイドライン>	5-17
プレー進行中にゴールキーパーを上げプレイヤーと交代させる場合	5-17
ゴールキーパーにペナルティが科せられた場合（ディレイド）	5-17
トゥー・メニー・プレイヤーズ・オン・ジ・アイス（メンバー・オーバー）	
でプレーを中断する場合	5-18
ペナルティ・コールの後	5-18
ペナルティ・ショットの際のポジションと任務	5-19
スティック計測の間	5-19
プレイヤーがハイスティックでパックに接触した場合	5-20
ハンドパスがあった場合	5-20
<ラインズマンのための秘訣>	5-21
<まとめ>	5-21

第6章 ポジショニング

<ポジショニング>	6-1
エンドゾーンのポジショニング	6-1
2人審判員制－レフェリー	6-5
○全体的なガイドライン	6-5
○プレー進行中のポジショニング	6-6
○フェイスオフのポジショニング	6-10
○フェイスオフのゾーン・チェンジ	6-15
○得点が入った場合	6-16
○ペナルティが課せられた場合	6-16
○よくある失敗と対策	6-17
3人審判員制－レフェリー	6-17
○フェイスオフのためのレフェリーのポジション	6-18
○プレー進行中のポジショニング	6-20
○よくある失敗と対策	6-24
3人審判員制－ラインズマン	6-25
○プレー進行中のポジショニング	6-25
○フェイスオフのポジショニング	6-28
○よくある失敗と対策	6-31
<まとめ>	6-32

第7章 オフサイドとアイシング

<オフサイド>	7-1
<ノー・オフサイド>	7-4
<ディレイド・オフサイド>	7-10

＜故意のオフサイド＞	7-13
＜アイシング＞	7-14
＜ノー・アイシング＞	7-16
＜その他のアイシングの場面＞	7-22
＜まとめ＞	7-23

第8章 スーパービジョン

＜序文＞	8-1
＜スーパービジョンの目的＞	8-1
＜スーパービジョンを受ける際の心得＞	8-1
＜スーパーバイザーへの期待＞	8-2
原則	8-2
プロフェッショナリズム	8-2
役割	8-2
チームワーク	8-2
状況把握	8-3
関わり方	8-3
時間	8-4
トレーニング	8-4
サポート	8-4
試合のスーパービジョン	8-4
＜用紙＞	8-6
＜試合中＞	8-7
試合中のスーパービジョン	8-7
レフェリーによるペナルティの選択	8-8
＜試合後＞	8-8
口頭でのフィードバック	8-9
レフェリーの評価	8-9
ラインズマンの評価	8-9
＜まとめ＞	8-11
＜レフェリー・スーパーバイザー用「試合中」のメモ用紙＞	8-13
＜レフェリーによるペナルティの選択＞	8-15
＜レフェリー評価表＞	8-17
＜ラインズマン評価表＞	8-19

第9章 危機管理

＜概要＞	9-1
＜危機管理の導入＞	9-1

<危機管理の原則>	9 - 1
危機管理とは何か	9 - 1
第一の防御手段	9 - 2
安全にはチームワークが必要：一人一人が役割を担っている	9 - 2
<安全にはチームワークが必要・あなたの役割は？>	9 - 3
氷上の安全	9 - 3
試合後の安全	9 - 4
フェアプレーと敬意	9 - 4
オフィシャルのフェアプレー規範	9 - 5
選手のフェアプレー規範	9 - 5
コーチのフェアプレー規範	9 - 6
父兄のフェアプレー規範	9 - 6
観客のフェアプレー規範	9 - 7
リーグ役員のフェアプレー規範	9 - 7
防具	9 - 8
ケガ予防	9 - 8
緊急時の計画と応急処置	9 - 9
H I Vとホッケー	9 - 9
スポーツ中のH I V感染の危険性	9 - 10
一般的な予防策	9 - 10
競技中の予防策	9 - 10
オフィシャルの予防策	9 - 11
薬物とタバコ	9 - 11
<まとめ>	9 - 11

第 1 0 章 日本アイスホッケー連盟の構成

第1章 I I H F オフィシャル強化 プログラムの構成

国際アイスホッケー連盟および
同オフィシャル強化プログラムを
理解する

本章では、以下の項目を学習する：

- I I H F の構成と意思決定の過程
- 国際アイスホッケー連盟スポーツ強化プログラムの5つの階級と、各階級の特徴と目的
- 国際アイスホッケー連盟オフィシャル強化プログラムの内容と各レベルの目的

10/12/2017

10/12/2017

I I H F スポーツ強化プログラム

原 則

国際アイスホッケーは、コーチ、選手、管理者、ゲーム・オフィシャルの育成資料を世界的に統一し、それに基づいてアイスホッケーを世界に普及させることを目的としている。この資料は、貴国内の既存のプログラムの補足として、あるいは中心となるプログラムとしても使用できるように作成されている。

I I H F および国内連盟は、アイスホッケーを世界に広く普及させるため、「パートナーシップ・フォー・プロGRESS」（進歩のための協力）のスローガンを掲げている。

任 務

国際アイスホッケー連盟の任務は、アイスホッケーを世界に普及させるため、各加盟国内でのアイスホッケーの普及と発展を支援することである。

国際アイスホッケー連盟は、各国連盟内で指導を行う主任指導者を育成する。

コーチ、選手、管理者およびゲーム・オフィシャルの強化を追求する中で、アイスホッケーを通じて世界の青少年の生活態度をも改善することを目指している。

展 望

我々の目標は、書籍やビデオなど I I H F および国内連盟が作成した、コーチ、選手、管理者およびゲーム・オフィシャルの育成資料を一同に集め、それら関係者が閲覧したり購入できるようにすることである。

各国の要望を取り入れ、各国の文化やホッケーの現状の範囲内でアイスホッケーを最大限に発展させられるよう、できる限りの支援をしていく。

P a r t n e r s h i p f o r P r o g r e s s

（進歩のためのパートナーシップ）

IIHF オフィシャル強化プログラム 組織図の説明

IIHFレフェリー委員会

IIHFレフェリー委員会は、カリキュラムや指導内容などIIHFオフィシャル強化プログラムの方針設定や立案、運営管理を行う。資料や各種セミナーの内容も、同委員会によって決定される。この育成プログラムは、「パートナーシップ・フォー・プロGRESS」のスローガンの下、国際アイスホッケーと各国内連盟との合同事業として運営される。つまり、各国が投じる時間や人材、資金にIIHFが報いるということである。

IIHF事務局

スイス・チューリッヒにあるIIHF事務局では、IIHFレフェリー強化プログラムに関する日常業務を行っている。

IIHFインストラクター

IIHFは、IIHFインストラクターを採用し育成する。IIHFインストラクターの役割は以下のとおり：

- 年数回、国内インストラクターを育成するためのセミナーを開催する。
- 国内インストラクターが国内会員を対象に開催する、オフィシャル・クリニックを補助する。
- 国内インストラクターに情報や知識を提供する。
- 国内インストラクターからの情報をとりまとめレフェリー委員会への提案を作成する。

国内レフェリー・インストラクター

国内インストラクターは、「国内主任レフェリー選考基準」に基づいて国内連盟が任命する。国内インストラクターの役割は以下のとおり：

- IIHFインストラクターが開催するインストラクター・セミナーに参加する。
- IIHFインストラクターの補助を得て、国内の会員を対象にレフェリー・ラインズマン・クリニックを開催する。
- 国内のゲーム・オフィシャルに情報や知識を提供する。

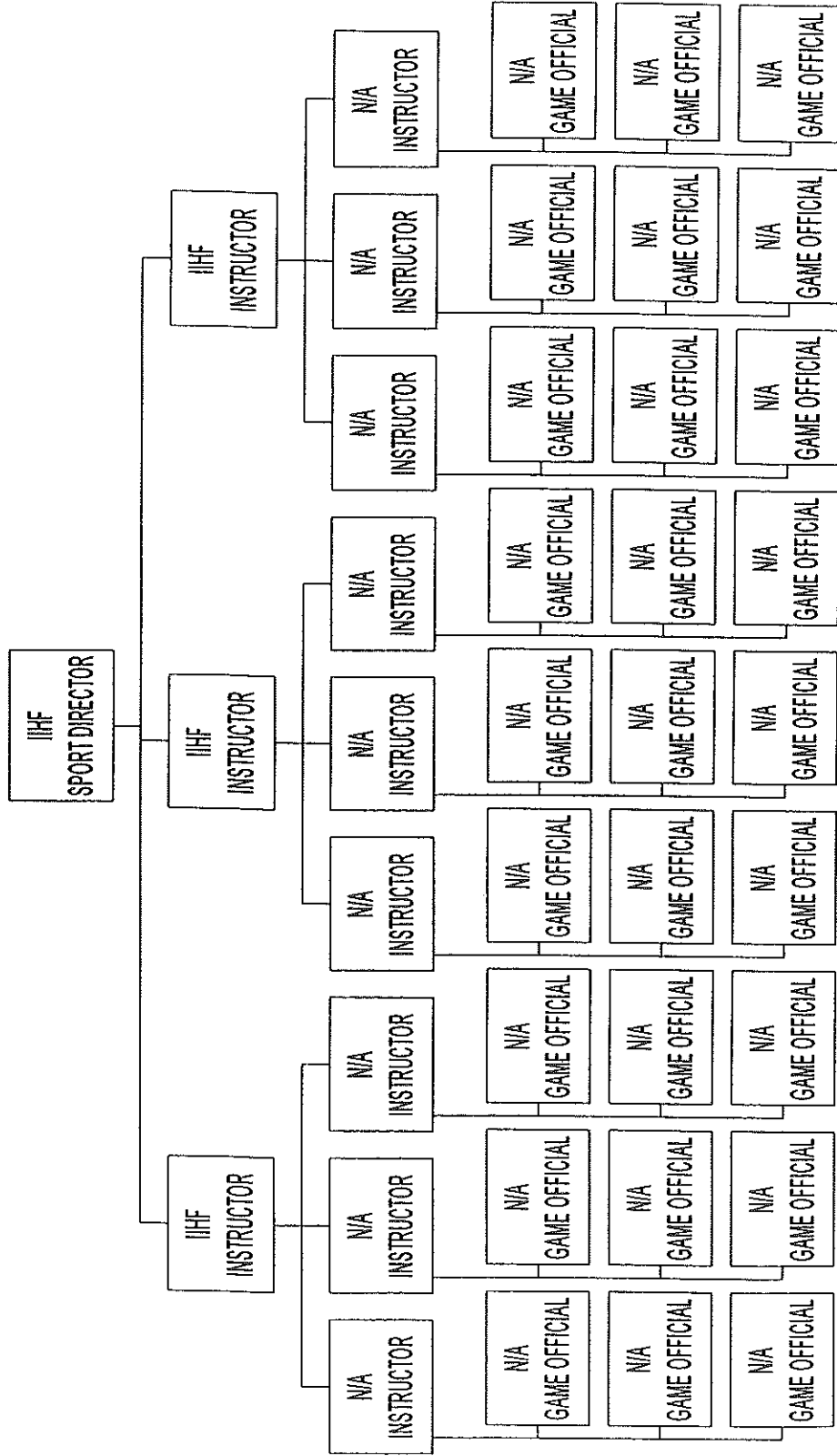
国内ゲーム・オフィシャル

国内ゲーム・オフィシャルは、当該国内連盟が任命する。国内ゲーム・オフィシャルの役割は以下のとおり：

- 国内連盟が主催するレフェリー・クリニックに参加する。このクリニックは、IIHFインストラクターの補助を得て国内インストラクターが運営する。
- ゲーム・オフィシャルは、IIHFレフェリー強化プログラムに関する情報や知識を得るため、国内インストラクターを活用する。

- ホッケーはクラブの制度に根ざすものであるため、ゲーム・オフィシャルは安全かつ適切な環境で試合を行うための情報と知識を備えていなければならない。こうした観点から、レフェリーおよびラインズマンは国内でのホッケーの普及と発展において非常に重要な役割を果たしていると言える。

IIHF SPORT DEVELOPMENT REFEREE DEVELOPMENT PROGRAM ORGANISATIONAL CHART



* N/A = NATIONAL ASSOCIATION* GAME OFFICIAL = REFEREE AND LINESMEN